

学校評価(後期)児童アンケート集計結果



昨年度比

①学習の課題やめあてに向かって、一生懸命取り組んでいますか。	92%	8%	→
②授業の内容はよく分かりますか。	92%	8%	↗
③家で「学年×10分」の学習をしていますか。	84%	16%	↓
④授業の時、自分で考えたことを、書いたり話したりしていますか。	80%	20%	↘
⑤学校は楽しいですか。	89%	11%	↑
⑥家の人や地域の人、先生や友達に挨拶をしていますか。	94%	6%	↑
⑦約束やルールを守って、生活をしていますか。	92%	8%	↗
⑧友達が困っている時に、進んで声をかけたり、助けたりしていますか。	92%	8%	↑
⑨自分には良いところがあると思いますか。	83%	17%	↗
⑩先生や友達は、あなたの良いところを見つけてほめたり、励ましたりしてくれますか。	92%	8%	↑
⑪おうちの人は、あなたの良いところを見つけてほめたり、励ましたりしてくれますか。	91%	9%	↑
⑫健康のために、睡眠、食事、歯磨きなどに気を付けていますか。	92%	8%	→
⑬運動についての自分なりのめあてを立て、進んで取り組んでいますか。	84%	16%	↑
⑭「マスターライフ」または「マスターライフチェックカード」を使って、より良い生活をしていますか。(学習・メディア・寝る時刻)	83%	17%	→
⑮テレビやインターネット、ゲームなどの使用に関して、おうちの約束を守っていますか。	89%	11%	↘
⑯将来の夢や目標がありますか。	82%	18%	→
⑰「たのしくむねをはれる学校」を目指して、努力していますか。	90%	10%	↑

重点目標「ゆめときぼうたのしくむねをはれる学校」を目指して取り組んでできました。12月に実施した児童・保護者アンケート結果の概要を報告します。なお、アンケートは4段階で調査しています。上記に記載したグラフは「そう思う」・「少しそう思う」を肯定的評価とし、パーセンテージで表しています。学校ではこれらの結果をもとに、全職員で学校評価会議をもち、これからの教育活動で重点を置いて取り組んでいかななくてはならないことを話し合いました。さらに目指す学校像に近づくように、教育活動の改善を検討していく所存です。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

学校満足度

「学校生活は楽しいですか」の質問項目への肯定的評価は、児童 89%・保護者 94%でした。今後とも肯定的評価 100%を目指し、努力していきます。学校の重点目標「ゆめときぼう たのしく むねをはれる学校」に向かってがんばっている児童が、昨年度の肯定的評価よりアップしました。今後とも愛校心、自己肯定感、希望や達成感を児童にもたせられるように職員一同働きかけを続けます。

確かな学力の育成

質問項目②「授業の内容はよくわかりますか。」には、児童 92%・保護者 87%と、ともに肯定的評価が高いです。今年度からは新しい学習道具のタブレットが3年生以上に導入されました。学校では、従来の学習方法と、タブレット活用を取り入れながらよりよい学習を研究中です。これからもわかる楽しい授業を児童と共に創っていけるように努力していきます。

昨年度、課題とした算数の学力定着ですが、かなり回復しました。単元テスト期待値以上とった児童の割合が 80% (昨年 68%) に上昇しています。ぐんぐんタイム、ミニマstime、わかる授業づくりの効果が徐々に出てきています。算数は特に積み重ねが大切な教科です。現学年でマスターしなければいけない知識、技能をしっかりと身に付け、次の学年に向かえるように、今後も楽しい算数学習を重ねていけたらと思います。

さて、学習内容の定着には授業に取り組む意欲と家庭学習の充実とが両輪でいかなとなかなか学習効果が上がりません。全国学力学習状況調査の結果では『平日1時間以上勉強している新潟県の児童の割合』は全国で4位ですが、『2時間以上勉強している児童の割合』はなんと47位なんです。学年×10分の勉強をしていれば「もう十分！安心！」になっていませんか。子どもの意欲的な学びをはぐくんでいるのか、振り返る必要があるかと考えます。それから、家庭でのテレビ等のゲーム時間の質問項目では、『1日2時間以上テレビゲームする割合』は全国が49%、新潟県は55%ととても高い割合です。この数値は全国2位となり、家庭時間の多くをゲームの時間に費やしてしまっている児童が多いとも読み取れます。心配な結果です。児童の学習意欲の向上、生活リズムの中に家庭学習時間を組み入れる働きかけを、学校と家庭が協力して行う必要があると考えます。

豊かな心をはぐくむ教育の推進

児童も保護者も思いやりを持った行動に関する質問は約95%肯定的評価でした。これからも優しい気持ちのあふれる言動が、学校、家庭、地域にあふれる柏崎小学校を目指します。一人一人の違いを認め合う、そして、それぞれの違いはあっても、協調性をもつことが社会性の育成につながると信じ、これからの教育活動を進めていきます。まずは一人一人のよさを見つめ、そして、言葉で伝えることを大事にしていきます。

また、年間3回行っているマスターライフ強調週間をきっかけに、生活リズムをより良い方向へ向けられるように、家庭と学校両面から児童をサポートしていきましょう。